

事業活動の概要

自 2013年 4月 1日

至 2014年 3月 31日

社会福祉法人 溪 仁 会

2013年度 事業報告

施設名：西円山敬樹園

1. 総括

入所は、上期退所19名と例年並みであったが下期42名と大幅に増加し、判定会議の時期の変更等も行ったが入所が追い付かない状態が半年続いた。2月にはノロの発生が追い打ちを掛けたが、発生時の処理方法に改善を加える等今後の対応の参考としていく。

短期は、目標には届かないまでも平均8名台を維持していたが、年明けノロの影響で受け入れ停止となり予想外の落ち込みとなった。

GHも、出だしから4名の退所、またホーム長の交代、ノロと重なり補充に大変苦勞をしたが、下期は満床状態を継続した。また、介護度が下がっているのと、事務職の異動により人件費がUPしたことにより、利益率は11%を確保したものの、年間利益計画と人件費率は未達となった。

デイは、前センター長を在宅事業担当に移し体制を変更したが、新規はあるものの前期同様ご利用者の純増には結び付かなかった。

HHは、2事業所ともいくら募集をかけても職員が集まらず、派遣先を縮小せざるを得ず、売上が減少することにより固定費率がUPする悪循環に陥っている。

居宅は、こころの3名が退職及び退職予定による引き継ぎのため人件費の重複が、かなりの金額に昇った。また、こころ、敬樹園共に3名から4名体制に移行するため、人件費の重複は2014年度上期まで続く予定。

最後に全ての部門でとにかく人員不足の1年であった。

2014年度は、最低でも2事業所の合併を本部に申し出ている。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

2013年度も毎月の運営会議で、先月の介護報酬の分析と今後の改善・対処事項の確認を行い、特に部門毎の人件費率と利益率の提示を行い、結果として各率を認識するのではなく、逆に売上高の目標を認識してもらう事に重点をおいてきた。ただ、デイ以外の在宅部門は、人件費率60%、利益率5%ともに達成可能な事業内容ではなく、別な目標を設定すべきだったと反省している。年度当初の課題として掲げたSSの送迎時間帯については、ご利用者様、ご家族に浸透しており難題であることを痛感している。DSの女性入浴については、1月より3Fで実施し、多少の課題はあるものの定着すると思われる。

2014年度の課題は判定会議の時期変更を含めた入所システムを見直し、定着する事にある。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

<西円山敬樹園（特養・短期・通所・訪問・居宅・予防）・グループホーム西円山の丘・こころ（訪問・居宅）>

医師：2名（非常勤）、看護職員：8名（内2名非常勤）、介護職員：67名（内9名非常勤）、生活相談員：4名、介護支援専門員：9名、介護予防：2名、理学療法士：1名、作業療法士：1名、言語聴覚士：1名、管理栄養士：1名、常勤ホームヘルパー：6名、非常勤ホームヘルパー：38名、事務職員他：11名（内1名非常勤）

合計職員数 151名（常勤職員99名、非常勤職員52名）

○2013年度職員異動状況（常勤職員）

採用：5名（看護職員：2名、介護職員：3名）

退職：5名（看護職員：3名、介護職員：2名）

4. 研修参加・実施状況

○ 外部研修参加（施設職員参加状況）139回 延50名参加

○ 内部研修 ～ 事故防止2回・感染予防2回・抑制廃止/高齢者虐待防止1回・褥瘡予防1回・介護技術研修2回

その他（新人職員研修・緊急時/災害時の対応・食事ケアと口腔ケア・アセスメントシートの記録等）

施設ケア部参加延人数423名 その他各部署にて実施

2013年度 事業報告

西円山敬樹園

【入所：定員123名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>44,530 人</u>	<u>43,895 人</u>
一日平均入所者数	<u>122.0 人</u>	<u>120.3 人</u>
入所待機者	<u>406 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.56</u>	
協力医療機関	: <u>1. 札幌西円山病院</u>	
	<u>2. _____</u>	
	<u>3. _____</u>	

【短期入所生活介護：定員14名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>3,285 人</u>	<u>2,931 人</u>
一日平均入所者数	<u>9.0 人</u>	<u>8.0 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.0</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型30名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>6,019 人</u>	<u>5,459 人</u>
一日平均利用者数	<u>23.5 人</u>	<u>21.3 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.0</u> (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>8,892 回</u>	<u>7,669 回</u>
(介護保険外)		<u>2,639 回</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>24.4 回</u>	<u>21.0 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.2</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,318 件</u>	<u>1,203 件</u>
(うち介護予防)		<u>168 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.1</u> (要支援1・2を除く)	

【介護予防センター】

(円山)

延相談件数 177 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：31件 権利擁護：0件 高齢者虐待：0件

介護予防：125件 その他：23件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>33</u> 回	<u>596</u> 人
介護予防教室	<u>28</u> 回	<u>180</u> 人
転倒予防教室	<u>36</u> 回	<u>258</u> 人
認知症予防教室	<u>42</u> 回	<u>323</u> 人
研修会・講演会	<u>2</u> 回	<u>70</u> 人
その他	<u>48</u> 回	<u>1,424</u> 人

(曙・幌西)

延相談件数 202 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：30件 権利擁護：0件 高齢者虐待：0件

介護予防：132件 その他：50件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>24</u> 回	<u>513</u> 人
介護予防教室	<u>19</u> 回	<u>230</u> 人
転倒予防教室	<u>9</u> 回	<u>130</u> 人
認知症予防教室	<u>10</u> 回	<u>134</u> 人
研修会・講演会	<u>0</u> 回	<u>0</u> 人
その他	<u>42</u> 回	<u>1,354</u> 人

【グループホーム（西円山の丘）定員：27名】

	目 標	実 績
延入所者数	9,740 人	9,533 人
一日平均入所者数	26.7 人	26.1 人
入所待機者	12 人 (3月末現在)	
要介護度状況	: 平均要介護度 2.3	
協力医療機関	: 1. 札幌西円山病院	
	: 2. _____	
	: 3. _____	

【訪問介護（ケアセンターこころ）】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	8,686 回	7,722 回
（介護保険外）		3,623 回
一日平均利用回数（介護保険）	23.8 回	21.2 回
要介護度状況	: 平均要介護度 2.7 (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援（ケアプランセンターこころ）】

	目 標	実 績
延作成件数	1,357 件	1,343 件
（うち介護予防）		121 件
要介護度状況	: 平均要介護度 2.0 (要支援1・2を除く)	

2013年度 事業報告

施設名：月寒あさがおの郷

1. 総括

- 「CSの向上」～“安全かつ安心していただけるケア”を念頭に、開設より実施している運営体制・業務手順等をより確実なものとするべく、更なる知識と技術の向上を図るため、介護技術手順書をはじめ各委員会のマニュアルを題材として施設内研修の充実を図った。また、看取りケアの実践・経験を踏まえ、ご家族の様々な思いやその人らしい最期を思い描きながら、職員一人ひとりの成長に繋がったものと感じている。
- 「ESの向上」～ワークライフバランスの継続推進の一環として、連続休暇の取得と併せて年次有給休暇の取得率向上を図るとともに、取得しやすい職場風土づくりに努めた。また、全てのハラスメントを排除していく観点から、上席者による職員一人ひとりに対する目配りと気配りを啓蒙し、適宜対話を行いながら発言できる環境づくりに努めた。
- 「地域への貢献」～前年度に引き続き一町内会と近隣マンションに対する会場の提供や平岸しらゆり幼稚園児による演奏会、ボランティア落語会などを企画・実施した。更に内部広報誌「あさがおニュース」の充実を図りながら、溪仁会グループや他居宅介護支援事業所に対する広報活動を継続した。
- 「安定収入の確保と利益体質の確立」～入所においては、冬期間におけるインフルエンザや感染性胃腸炎などの発生も無く順調に推移し、短期入所においては、通所利用者からの併用利用者並びに実利用者数そのものの増加が図られた。通所においては、着実に利用者増加が図られ、今年度法人全体での取り組みとなった「デイ・チャレンジ2013」の達成を機に、一日平均利用者数が30名を超えるまでに至ったことなどから、概ね安定した収入を確保し利益計上することができた。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

- 限られた定員枠の中で最大限の収入を確保していくことの重要性を啓蒙した。
- その中で予算数値目標の達成に向けて、予算策定時における加算項目が確実に算定されているか、また、算定率が目標数値を維持しているか等を検証しつつ、新たな加算の算定に向けた各々の課題を抽出した。

<成果>

- 個室効果もあるが、インフルエンザを含めた感染症対策が徹底され、下期においては上期を上回る稼働が図られた。
- 「看取りケア」をはじめ「経口維持加算Ⅱ」の算定により若干の増収が図られた。
- 通所利用者によるショートステイ併用利用が増え、前年度を上回る施設内シームレスの展開が図られた。

<今後の展開>

- 上記取り組みの継続強化と平均介護度の維持並びに新たな加算の算定に向けた取組みを含め、引き続き通所介護事業を柱とした施設内循環型サービスの更なる確立を目指し、安定した収入並びに利用者の確保に努めていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況<入所・短期・通所>

管理者1名、医師2名（非常勤）、看護職員10名（内非常勤1名）、介護職員62名（内非常勤3名）、生活相談員3名（通所管理者含む）、介護支援専門員1名（入所）、理学療法士1名、管理栄養士1名、事務職員・送迎運転手4名（内非常勤1名） 合計職員数85名（常勤78名、非常勤7名）

○2013年度職員採用・退職等状況

採用：18名【看護職員3名（内通所2名）、介護職員13名（内通所5名）、事務職員他2名】

退職：8名【看護職員1名（通所）、介護職員7名（内通所1名）】

異動：1名【介護職員1名（ケアハウスより）】

4. 研修参加・実施状況

○外部研修参加状況（溪仁会グループ内研修含む）

ユニットリーダー研修（日本ユニットケア推進センター）、認知症介護実践者研修、通所マネジメント研修（デイ協）、北海道高齢者虐待防止推進研修（道社協）、日本・アジア慢性期医療学会、他
参加回数47回（内溪仁会グループ研修25回）、延212名参加

○内部研修実施状況

看取りケア研修、感染症（ノロウイルス・インフルエンザ）研修、身体拘束・虐待防止、接遇、救命救急、他
実施回数21回、延510名参加

○その他

溪仁会グループ研究発表においてポスター演題を含む5演題を発表（内4演題入賞）

2013年度 事業報告

月寒あさがおの郷

【入所：定員80名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>29,200 人</u>	<u>29,156 人</u>
一日平均入所者数	<u>80.0 人</u>	<u>79.9 人</u>
入所待機者	<u>243 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.6</u>	
協力医療機関	: <u>1. ごとう内科クリニック</u>	
	<u>2. 定山溪病院</u>	
	<u>3. 札幌歯科口腔外科クリニック</u>	

【短期入所生活介護：定員8名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>1,825 人</u>	<u>1,557 人</u>
一日平均入所者数	<u>5.0 人</u>	<u>4.3 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.5</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型40名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>7,321 人</u>	<u>7,651 人</u>
一日平均利用者数	<u>28.7 人</u>	<u>29.8 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.8</u> (要支援1・2を除く)	

2013年度 事業報告

施設名：岩内ふれ愛の郷

1. 総括

2012年2月に岩内町から引き継ぎ2年が経過した。毎月、入居・ショート共に目標の稼働率を達成した。

結果、収支状況においても、人件費率及び利益率共に目標を達成した。

職員確保においては、看護職員・理学療法士などの有資格者については欠員なく推移した。しかし、介護職員においては、基準定数ぎりぎりの確保がやっとの状態が慢性化しており課題となった。

又、12月には介護職員による入居者への虐待事案が発生し、後志総合振興局及び岩内町の指導監査を受けることとなり、それに基づく改善報告書を提出した。更に、該当になった入居者はもとより、全入居者家族へも状況を文書でお知らせした。

現在、全職員で改善報告書を基に真摯に処遇向上に取り組んでいる。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

○2013年度の下記計画を確認した。

1. 地域と繋がる

①町内中心部に介護予防サロンを開設

②夢見る仕事チャレンジ

2. シームレスな職員教育

3. サービス高齢者住宅の概要作成

○虐待防止について改善事項の取り組み10項目

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

施設長	： 1名	栄養士	： 1名
介護職員	： 20名	理学療法士	： 2名
看護職員	： 4名	事務職員	： 2名
相談員	： 1名	医師	： 1名（嘱託）
合計	： 32名		

○定期業務委託：給食・清掃洗濯・夜間警備・浄化槽管理

4. 研修参加・実施状況

○キャリア支援室研修参加

認知症ケア研修

全国老人福祉施設全国大会（和歌山）

2013年度 事業報告

岩内ふれ愛の郷

【入所：定員50名】※2012年4月1日事業開始

	目 標	実 績
延入所者数	<u>18,250 人</u>	<u>18,566 人</u>
一日平均入所者数	<u>50.0 人</u>	<u>50.9 人</u>
入所待機者	<u>20 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.25</u>	
協力医療機関	: <u>1. 指定管理者 医療法人溪仁会 泊村立茅沼診療所</u>	
	: <u>2. _____</u>	
	: <u>3. _____</u>	

【短期入所生活介護：定員10名】※2012年4月1日事業開始

	目 標	実 績
延入所者数	<u>2,920 人</u>	<u>2,542 人</u>
一日平均入所者数	<u>8.0 人</u>	<u>7.0 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.09</u> (要支援1・2を除く)	

2013年度 事業報告

施設名：きもべつ喜らめきの郷

1. 総括

2013年6月の開設に向け、2013年4月より職員を採用し、多くの職員が留寿都村特養銀河荘への応援に入中、職員住宅建設の遅れ等もあり、札幌市内の施設にも研修等の協力をいただき、又、銀河荘からの引越し（37名）の際も、法人本部をはじめ、法人内の各施設にご支援をいただく等、法人の総合力により、予定通り開設を迎えることができた。

入居アベレージが安定するまでに若干の時間を要したため、目標アベレージの達成はできなかったが、各種委員会の定例開催、内部・外部研修への積極的な支援、看取りケア（4件）の実施等を通して、これからの施設運営の基盤をつくることができた。さらに、下期は、るすつ銀河の杜の開設に向け、開設準備室を設置し、更なる職員の確保や、一体的な運営に向けた課題を整理しつつ、職員ひとり一人がそれぞれの役割を果たすことにより、2014年4月1日の開設を迎えることができた。又、障がい者雇用の課題においても、知的障害者施設との連携を通してクリアすることができた。

今後は、二つの施設を一体的に運営しながらサービスの質の向上を図ること、又、2015年度の介護報酬改定に向けた情報収集と対応策を検討しつつ経営基盤の安定化を図ること、更には、両町村における在宅事業の展開についても関係機関及び法人本部と連携しながら進めていきたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

・毎月第3水曜日（16：30～）開催。 ※施設運営会議にて検討中。

1) 効率的な人員配置

・開設当初は各ユニット毎（8名）の夜勤者でスタートしたが、職員のレベルアップに伴い、2013年10月から7名夜勤、2013年12月からは6名夜勤体制を開始。

2) 各種加算の算定

・協力歯科医療機関との連携により、2013年7月から「口腔機能維持管理体制加算」を算定。

・介護福祉士の確保により、2013年9月から「サービス提供体制強化加算Ⅰ」を算定。

・看取り介護加算（4名）算定。

・今後、「認知症専門ケア加算Ⅰ」の取得に向け、「認知症実践者研修」及び「認知症実践リーダー研修」への積極的な研修参加を支援していく。

3) 節電及び費用の見直し

・床暖房及びパネルヒーターの使用方法を見直し、地中熱ヒートポンプシステムの効率的な使用方法を周知。

・便座及び温水洗浄機の設定の見直し（温度設定：中⇒低）及び空調換気システム（温度設定：中⇒低）の見直し。

・超過勤務が多い部署・業務の洗い出し（2014年3月から薬の仕分け・確認作業に、調剤薬局薬剤師へ応援依頼）

・留寿都開設後の会議・委員会に伴う超過勤務及び出張旅費等の削減効果を見込み、TV会議システムを導入。

・2014年度は、前年度との対比により、更なる経費の削減に取り組むとともに、業務委託等の見直しも検討する。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

非常勤医師2名、看護職員7名（内非常勤1名）、介護職員57名（内非常勤5名、派遣3名）、

生活相談員兼介護支援専門員3名、管理栄養士1名、訪問介護員2名、事務職員他7名（内非常勤1名）

○2013年度職員異動状況

採用75名【介護職員60名（内新卒8名、派遣3名、非常勤5名）、看護職員6名（内非常勤1名）、非常勤ST1名、

生活相談員兼介護支援専門員2名、管理栄養士1名、訪問介護員1名、事務職員他4名（内非常勤1名）】

退職13名【介護職員10名、看護職員2名、非常勤ST1名】

異動 3名【介護職員2名（敬樹園へ1名、カームヒル西円山へ1名）、管理栄養士1名（法人本部へ）

4. 研修参加・実施状況

○内部研修実施回数：19回、延662名参加

ユニットケア、リスクマネジメント、緊急時対応、感染対策、交通安全、事故防止、褥瘡ケア、虐待防止、接遇、コンプライアンス等

○外部研修参加回数：50回、延97名参加

認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、ユニットリーダー研修、ユニット管理者研修、

医療的ケア教員講習会、看取り介護実践フォーラム、介護福祉士実習指導者講習会、

溪仁会グループ及び本部主催研修等

○今後も各委員会を中心に活動のレベルアップと積極的な外部研修参加の機会作っていく。

2013年度 事業報告

きもべつ喜らめきの郷

【入所：定員80名】※2013年6月1日事業開始

	目 標	実 績
延入所者数	<u>23,101 人</u>	<u>22,286 人</u>
一日平均入所者数	<u>76.0 人</u>	<u>73.3 人</u>
入所待機者	<u>11 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.7</u>	
協力医療機関	: <u>1. 喜茂別町立クリニック</u>	
	<u>2. 定山溪病院</u>	
	<u>3. 喜茂別歯科</u>	
	<u>4. ふじ歯科クリニック</u>	

【訪問介護】※2013年4月1日事業開始

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>504 回</u>	<u>906 回</u>
(介護保険外)		<u>41 回</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>2.0 回</u>	<u>3.5 回</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 1.6</u> (要支援1・2を除く)	

2013年度 事業報告

施設名： 菊水こまちの郷

1. 総括

特養においては、ベッド調整に若干の時間を要したが、年間を通して長期入院者の迅速な対応ができた事で、ほぼ目標に近い実績を上げられた。(一日平均入所者数 2012年度27.8名⇒2013年度28.3名)

小規模多機能においては、新規登録者獲得のため白石区中心に居宅介護支援事業所や病院関係にお声を掛けご紹介もいただいていたが、長期の利用に至らないケースが多く(サービス付き高齢者住宅に入居等)、年間の一日平均登録者数が20.4名と目標を大きく下回った。小規模多機能が目標数値達成に至らず、施設全体の経営状況に大きく影響を与えた。

下半期より小規模多機能管理者の変更があったが、各所属長の協力もあり、施設全体でのご利用者様やご家族様からの苦情や大きな事故なく施設運営する事ができた。

初めての取り組みとして職員と地域住民合同での研修会等も開催でき地域との交流も年々増えてきている。職員スキルアップの勉強会(こまちアカデミー)も開催して介護福祉士受験者は全員合格。介護支援専門員も1名合格。2014年度も継続して勉強会(こまちアカデミー)を開催する。

2014年度は、地域密着型サービスの特徴を活かして新規事業に取り組み、業務の効率化を図りながら経営基盤の安定化に向けた努力をしていきたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

・毎月第2金曜日(17:30~)開催

- 1) 新規事業【認知症対応型通所介護(共用型)】に向けて
- 2) 特養・小規模利用者様の区分(要介護度)変更
- 3) 加算算定
- 4) 兼務業務

<成果>

- 1) 札幌市とも事前協議行い、2014年7月より開設予定(人員基準・運営基準調整中)
- 2) 小規模についてはご本人様・ご家族様に説明し必要に応じ対応しているが目標介護度まで到達していない。今後も継続して実施。
- 3) 「認知症専門ケア加算Ⅰ」と「口腔機能維持管理加算」今後もより多く算定できるように日々のケアより情報収集して対応し昨年度より「認知症専門ケア加算Ⅰ」算定者増加。今後も継続して実施。
- 4) 特養・小規模、同一敷地内での兼務可能な職員を固定させ、より効率的にシフト調整ができるようになった。今後も継続して実施し業務内容見直しを図りたい。

<今後の展開>

2014年度7月より、同一敷地内に認知症対応型通所介護(共用型)を開設できる様に協議していきたい。また、新規事業に伴い、職員の兼務等より効率的に業務を実施して(目標：利益率5%以上・人件費率60%以下)安定的な施設経営を図っていきたい。2015年度は、介護報酬改定に伴い厳しい経営環境が予測されるが、2014年度は、更なる専門性の向上や業務の効率化を図り、新規事業展開等を評価・検討する良い機会としたい。

3. 職員状況(3月末現在)

○2013年3月31日職員状況

医師1名(非常勤)、看護職員3名、介護職員32名(内非常勤3名)、生活相談員1名、管理栄養士1名、介護支援専門員1名、事務職員他2名、合計41名(内非常勤4名)

○2013年度職員異動状況

採用6名【介護職員6名(転籍2名、契約2名、非常勤2名)】

退職2名【介護職員2名(派遣1名、非常勤1名)】

異動3名【経営管理課長代理1名(カームヒル西円山へ)、介護職員2名(喜らめきの郷へ)】

4. 研修参加・実施状況

○内部研修実施回数：12回、延295名参加

接遇、リスクマネジメント、認知症の理解、緊急時対応、感染対策、交通安全、事故防止、褥瘡ケア、虐待防止、看取りケア、他施設見学、等

○外部研修参加回数：47回、延74名参加

認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、ユニットリーダー研修、特養看護と介護の連携協働研修、介護職員等たん吸引等実地研修指導者講習、施設長研究セミナー

○今後も各委員会中心に活動のレベルアップと積極的な外部研修(全職員参加)参加の機会を作っていく。

2013年度 事業報告

菊水こまちの郷

【入所：定員29名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>10,404 人</u>	<u>10,313 人</u>
一日平均入所者数	<u>28.5 人</u>	<u>28.3 人</u>
入所待機者	<u>177 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 4.00</u>	
協力医療機関	: <u>1. 広川内科クリニック</u> <u>2. 白石中央病院</u> <u>3. 白石江仁会病院</u> <u>4. 札幌ひばりが丘病院</u> <u>5. 札幌歯科口腔外科クリニック</u>	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員25名（通い定員15名、宿泊5名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>8,786 人</u>	<u>7,457 人</u>
※延通い利用者数		<u>4,049 人</u>
※延宿泊数		<u>1,254 人</u>
※延訪問数		<u>2,765 人</u>
一日平均登録者数	<u>24.0 人</u>	<u>20.4 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.05</u> (要支援1・2を除く)	

2013年度 事業報告

施設名：カームヒル西円山

1. 総括

入居の面では、年間通じ、入居率99名を確保できたと共に、下期から職員を増員し特定入居者生活介護の利用定数を増やしたことで、下期の特定利用者数は34.5人と当初の目標を超過する結果となった。

施設ケアの面では、年度開始から特定利用者様へ個人担当制を実施し、個別ニーズの把握と支援を実施してきた。上期での一定程度の結果がうかがえたため、下期には更に踏み込んで、個別の外出企画やまた状態に合わせた施設内レクを実施することができた。担当制にすることで、個別の生活状況もこれまで以上に明確化されるとともに、職員の認識も集団ケアから個別ケアへの意識変革となり本来あるべき特定入居者生活介護としての支援の基盤作りができたように思われる。

職員の質の向上では、国家資格受験予定者3名が全員合格となった。

2013年度は、次期制度改正へむけ、施設内ケアのあり方と職員の意識変革、またサービス高齢者住宅など競合する事業者との差別化を意識した改善を施設として取り組んだ他、老施協、全軽協等の活動にも積極的に参画し軽費老人ホームの向上にも努めてきた。

2014年度は、2013年度の反省点・課題を整理して、引き続き改革、実践の年としたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

毎月1回の定例役職者会議で、前月の実績と当月の定数、予算執行について確認を行うと共に経費執行を検討し実施してきた。特に、特定入居者の入れ替えや入居判定の部分でも、これまで専門職のみで実施していた内容に、定数や介護度などを考慮した形で調整を実施。

<成果>

役職者会議での検討事項や収支状況を全職員に周知することで、業務上の課題や施設、法人全体の経営状態を各職員が認識して経費や目標数を意識して業務に取り組むことができた。

<今後の展開>

時期制度改正に向けて、一般、特定の今後するケアハウスとして一般利用者様は自立した生活を、特定入居者生活介護利用者様は個別ニーズに合わせたケアを更に充実、実施することで安定した定数を確保すると共に目標定数確保のために予備利用者を計画的に受け入れるなど検討も必要である。その他に、市内の関係機関等への計画的な営業活動を実施し待機者の確保も継続して実施する。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

看護職員2名、介護職員13名、相談員1名、事務職員他2名、合計18名

○2013年度職員採用・退職等状況

採用⇒1名（介護職員）

退職⇒1名（看護職員）

異動⇒4名（介護職員2名：月寒あさがおの郷へ1名、きもべつ喜らめきの郷より1名

相談員 2名：手稲つむぎの杜へ1名、菊水こまちの郷より1名）

4. 研修参加・実施状況

○参加：26回、延76名参加

外部研修：全国軽費老人ホーム協会、札幌市老人福祉施設協議会、ほくろう福祉協会、北海道社会福祉協議会等
内部研修：高齢者虐待防止研修、感染症対策研修、事故防止対策研修、記録の書き方

この他、自主的な勉強会・研修会への参加については各自の希望に沿って調整を行った。（有休の用いての参加等）

2014年度についても計画的な研修会参加調整・自主的な勉強会への参加を調整しながら行っていく。

○介護福祉士2名、正看護師1名資格取得。

2013年度 事業報告

カームヒル西円山

【入所：定員100名（特定施設含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>36,135 人</u>	<u>35,907 人</u>
（うち特定入居者）		<u>12,329 人</u>
一日平均入所者数	<u>99.0 人</u>	<u>98.4 人</u>
（うち特定入居者）		<u>33.8 人</u>

入所待機者（3月末現在） 個人：88 人 夫婦：10 人 うち特定：60 人

要介護度状況 : 平均要介護度 1.2 (要支援1・2を含む)

協力医療機関 : 1. 札幌西円山病院

2. _____

3. _____

2013年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム白石

1. 総括

2013年度は「在宅復帰の推進・在宅生活の支援」を基本方針とし、老人保健施設を中心とした複合的なサービスの提供によりその役割を果たし、同時に安定した経営の実現を目標とした。

経営改善プロジェクト会議等で在宅復帰・在宅療養支援機能加算算定に対する現状と今後の見通しについて毎月情報共有を行ない、同加算は11か月間算定することができた。2013年度は、延24名の在宅復帰者を送ることができた。

しかし、同時に目標とした安定経営については厳しい結果となった。下期になり老人保健施設入所のベッド稼働率は改善したが、在宅サービスは他事業所との競合が厳しく一年を通して目標を達成できない状況が続いた。

2014年度は、ショートステイセンターの運営体制の見直しをはじめとして、白石の各サービス・各職種が更に連携を強化することで課題に取り組んでいきたいと考える。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

毎月1回、プロジェクト会議を開催し施設運営上の課題について協議を行った。

参加者： 施設長、施設ケア部長、経営管理部長、リハビリテーション部長、経営管理部次長、支援相談課副主任、施設管理課長、他関係部署

内容： 利用状況（アベレージ）確認、加算算定状況の確認及び新規加算の検討、新規事業の可能性検討、新規入所者受入れに向けた合意形成、在宅復帰を促進する為の意識統一、BSC戦略目標に対する進捗状況確認と具体策の検討、その他運営上の課題について協議した。

<成果>

- 1 老人保健施設では、4月～2月まで11か月間で「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」を算定した。
- 2 老人保健施設の新規加算として、1月から新たに「口腔機能維持管理体制加算」を算定した。
- 3 新規事業として、5月から老人保健施設の「訪問リハビリテーション」を開設した。
- 4 ショートステイセンターの活性化について協議し、白石全体の課題とすることで運営体制の再構築に繋がった。
- 5 その他、時々の課題について協議し、意識の統一を図った。

<今後の展開>

現在のプロジェクト会議はその役割を十分果たしているものとする。今後も課題によっては関係部署の所属長をメンバーに加えて協議することで、白石全体の課題として連携を強化していきたい。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

医師1名、看護師17名（准看護師含む）、介護職員80名、理学療法士1名、作業療法士8名、言語聴覚士3名、相談員：名、介護支援専門員9名、地域包括・介護予防18名、管理栄養士1名、事務職員他20名、常勤ホームヘルパー4名、非常勤ホームヘルパー23名
※育児休業1名、産後休暇3名、育児短時間勤務4名、傷病休業2名

○2013年度職員異動状況

採用：34名（医師1名、看護職員3名、介護職員22名、理学療法士1名、介護支援専門員1名、地域包括3名、送迎運転手3名）
退職：19名（医師1名、看護職員2名、介護職員12名、相談員1名、地域包括1名、送迎運転手2名）
転入：4名（介護職員2名、相談員1名、地域包括1名）
転出：8名（看護職員1名、介護職員4名、作業療法士1名、相談員1名、事務職員1名）

4. 研修参加・実施状況

- 溪仁会グループ本部主催研修会：延169名参加
- 溪仁会グループ研究発表会：4演題発表、50名参加
- 北海道老人保健施設大会：4名参加
- 日本言語聴覚学会：1演題発表
- 北海道作業療法学会：1演題発表
- 外部研修：「北海道作業療法学会」2名参加、「日本言語聴覚学会」1名参加
「北海道高齢者虐待防止推進研修会」3名参加、「生活行為向上マネジメント研修会」5名参加
その他の外部研修71回、延119名参加
- 内部研修（白石全体研修）：「食中毒及び集団感染予防研修会」60名参加、「感染予防研修会」56名参加
「安全運転講習会」46名参加、「接遇研修会」4回、延233名参加、「防災講習会」46名参加、他
- その他、各部署が部内研修及び勉強会を多数実施した。

2013年度 事業報告

コミュニティホーム白石

【入所：定員100名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>35,402 人</u>	<u>34,767 人</u>
一日平均入所者数	<u>97.0 人</u>	<u>95.3 人</u>
入所待機者	<u>5 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.6</u> (短期療養除く)	
協力医療機関	: 1. <u>札幌西円山病院</u>	
	2. <u>白石中央病院</u>	
	3. <u>札幌ひばりが丘病院</u>	

【通所リハビリテーション：定員50名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>9,760 人</u>	<u>9,137 人</u>
一日平均利用者数	<u>40.0 人</u>	<u>37.4 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 1.9</u> (要支援1・2を除く)	

【短期入所生活介護：定員19名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>5,457 人</u>	<u>4,443 人</u>
一日平均入所者数	<u>15.0 人</u>	<u>12.2 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 3.1</u> (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>13,621 回</u>	<u>10,950 回</u>
(介護保険外)		<u>1,749 回</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>44.5 回</u>	<u>35.8 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.5</u> (要支援1・2を除く)	

【訪問リハビリテーション】※2013年5月1日事業開始

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>88 回</u>	<u>77 回</u>
(介護保険外)		<u>0 回</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>0.4 回</u>	<u>0.3 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.8</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	2,740 件	2,469 件
(うち介護予防)		43 件

要介護度状況 : 平均要介護度 1.8 (要支援1・2を除く)

【第1地域包括支援センター】

延相談件数 601 件

相談内容 (重複有)

介護保険制度 : 445 件 権利擁護 : 2 件 高齢者虐待 : 0 件

介護予防 : 38 件 その他の保健福祉サービス : 11 件

認知症に関すること : 13 件 その他 : 96 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
運営会議	2 回	0 回
個別処遇検討会議	9 回	0 回
連絡会議	0 回	2 回
運営推進会議	0 回	72 回
地区組織関係会議	44 回	33 回
その他	12 回	5 回

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	792 件	366 件	50 件

【第3地域包括支援センター】※2013年4月1日事業開始

延相談件数 515 件

相談内容 (重複有)

介護保険制度 : 416 件 権利擁護 : 7 件 高齢者虐待 : 6 件

介護予防 : 24 件 その他の保健福祉サービス : 7 件

認知症に関すること : 15 件 その他 : 69 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
運営会議	<u>2 回</u>	<u>0 回</u>
個別処遇検討会議	<u>7 回</u>	<u>0 回</u>
連絡会議	<u>0 回</u>	<u>0 回</u>
運営推進会議	<u>0 回</u>	<u>36 回</u>
地区組織関係会議	<u>66 回</u>	<u>46 回</u>
その他	<u>0 回</u>	<u>4 回</u>

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	<u>776 件</u>	<u>430 件</u>	<u>48 件</u>

【介護予防センター（白石中央）】

延相談件数 63 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：22 件 権利擁護：0 件 高齢者虐待：0 件
 介護予防：31 件 その他：18 件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>46 回</u>	<u>731 人</u>
介護予防教室	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
転倒予防教室	<u>12 回</u>	<u>185 人</u>
認知症予防教室	<u>4 回</u>	<u>57 人</u>
研修会・講演会	<u>1 回</u>	<u>39 人</u>
その他	<u>1 回</u>	<u>49 人</u>

【グループホーム（白石の郷）定員：18名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>6,463 人</u>	<u>6,367 人</u>
一日平均入所者数	<u>17.7 人</u>	<u>17.4 人</u>
入所待機者	<u>18 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 3.3</u>	
協力医療機関	： <u>1. よつばクリニック</u>	
	： <u>2. 札幌歯科口腔外科クリニック</u>	
	： <u>3. _____</u>	

【通所介護（白石の郷）：一般型55名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>12,946 人</u>	<u>12,233 人</u>
一日平均利用者数	<u>42.0 人</u>	<u>39.7 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.9</u> （要支援1・2を除く）	

2013年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム八雲

1. 総括

- 入所は、新規受入やタイムリーなベッド調整により順調に推移していたが、1月～2月にかけて19人と相次いで入院退所が出たことが影響して目標とする1日平均入所者数88.0人に対し0.9人届かなかった。
- 通所リハは、3月に発生したノロウイルスの集団感染で利用中止者が相次ぎ大きなダメージを被ったが、「デイチャレンジ2013」の成功で、目標とする1日平均利用者数24.0人を1.8人上回る好成績を上げることができた。
- 訪問リハは、後半に新規利用者の獲得が進み、目標とする1日平均利用者数1.6人に対し3.0人と大幅に上回る成績を上げた。
- 訪問介護は、4月開設で当初の利用者数が6人からスタート、年度末で16人まで増加したが、訪問ヘルパーの中途退職などあって目標とする1日平均利用回数7.0回に対し実績は6.8回と伸び悩んだ。
- 居宅支援は、4月から3人体制とし、7月から特定事業所加算を取得。月平均83.3件で目標には届いていないが、新規利用者66件の獲得など昨年度実績より大幅に向上した。
- 収支予算面では、入所、通所リハ、訪問リハの健闘により目標を上回る収益を上げることができたことと、職員の中途退職や産休・育休等による人件費の支出減もあって目標を上回る純利益を獲得することができた。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

- 訪問介護事業の開設及び職種間連携による新規利用者の受入体制を整備した。
- 昨年に引き続き町主催の健康まつりへ参加するとともに介護応援教室を開催し施設のPR、地域貢献に努めた。
- 職員同士の交流を深めるため、パトミントン大会や麻雀大会を企画実施、さらに町民ソフトボール大会やミニバレー大会などへ参加し延べ90名以上がレクリエーションを楽しんだ。
- 職員の意識向上と意思統一を図るため、12月から朝礼で法人経営理念の唱和を開始した。

<成果>

- 訪問介護事業の開設により入所系サービスと在宅系サービスの一体的繋がったサービスの提供が可能となり、相乗効果が表れている。
- 介護応援教室には24人の町民の方が参加、デイケア体験やリハビリ、栄養講座など好評で通所利用に繋がったケースや介護の裾野を拡大するなどの効果が表れている。
- 職員のレクリエーション活動は、コミュニケーションや職種間の連携が深まり職場環境改善に貢献している。

<今後の展開>

- 各課の課題や問題点、職員の状況など情報交換と意思統一を図るため、新たに管理職等連絡会議を立ち上げる。
- 通所リハの定員を40人から45人へ増員し、新規利用者の受入やイベント行事等の開催で予算目標を達成したい。
- 口腔機能維持管理加算や看取り加算など新たな加算の取得に取り組んでいく。
- 薬剤費や時間外、光熱水費が増加傾向にあるので業務の効率化、改善に努めていく。
- 2年連続ノロウイルスの集団感染が発生し運営に大きなダメージを受けたことから予防対策を強化する。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

医師：1名、看護職員11名（内非常勤1名）、介護職員40名（内非常勤2名）、療法士7名、管理栄養士2名、介護支援専門員3名、相談員3名、事務職員他8名（内非常勤4名） 合計75名（常勤66名、非常勤9名）

○2013年度職員異動状況

採用：13名（看護職員2名、介護職員10名、療法士1名、）
転勤：2名（介護職員2名）
退職：7名（看護職員2名、介護職員5名、）

4. 研修参加・実施状況

○内部研修：18回、延298名参加

主な内容：救急救命実践、スキルアップ、高齢者虐待防止、感染症予防対策、褥瘡予防、転倒予防研修など

○外部研修：63回、延111名参加

主な内容：感染管理研修、認知症介護実践リーダー研修、介護福祉士実習指導者養成研修、認知症介護実践研修、高齢者虐待防止推進研修会、キャリア段位評価者研修、生活向上マネジメント研修など

○溪仁会研究発表会：2題提出（5名参加）

2013年度 事業報告

コミュニティホーム八雲

【入所：定員90名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>32,120 人</u>	<u>31,793 人</u>
一日平均入所者数	<u>88.0 人</u>	<u>87.1 人</u>
入所待機者	<u>10 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 3.3</u> （短期療養除く）	
協力医療機関	： <u>1. 八雲総合病院</u>	
	<u>2. ヤクモ齒科クリニック</u>	
	<u>3. _____</u>	

【通所リハビリテーション：定員40名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>7,387 人</u>	<u>7,944 人</u>
一日平均利用者数	<u>24.0 人</u>	<u>25.8 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.0</u> （要支援1・2を除く）	

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>388 人</u>	<u>728 人</u>
一月平均利用者数	<u>32.3 人</u>	<u>60.7 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.7</u> (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】 ※2013年4月1日事業開始

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>2,184 回</u>	<u>2,127 回</u>
(介護保険外)		<u>0 回</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>7.0 回</u>	<u>6.8 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.9</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,157 件</u>	<u>1,000 件</u>
(うち介護予防)		<u>115 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.9</u> (要支援1・2を除く)	

2013年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム美唄・すまいる

1. 総括

- ・2013年度の入所（短期療養を含む）の一日平均入所者数は、79.4名と目標を達成。
入所者内訳：在宅9名、施設1名、病院23名、再入所9名、合計42名。年度平均介護度2.8。
退所者内訳：在宅3名、施設3名、入院18名、死亡10名（7名は看取り）、合計34名
- ・通所リハビリの1日平均利用者数は、41.0名となり、昨年度対比6.2名アップと大幅に伸びた。
- ・通所介護の1日平均利用者数は、24.0名となりほぼ年度目標を達成。
- ・2013年度は、ノロウイルス等の罹患者は発生せず入所・通所ともに安定運営。
- ・感染症予防にドライミストによる湿度管理、次亜塩素酸による施設内消毒、全トイレ周りを1日2回消毒、入所者・利用者・家族・全職員が使用する水道を自動給水へ、更に自動泡ソープへの切り替えにより徹底した手指消毒環境を整備。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

2012年度に引き続き経営改善プロジェクトに関する協議・検討・取り組みおよび状況報告を行う。

2013年度は、計画書を新たに作成し5月の施設運営会議で説明、その後6月・8月・12月の施設運営会議で、所属長からそれぞれ計画内容、取り組み状況の報告を行い、3月に最終的な評価を実施。

<成果>

このプロジェクトの目的が利用者増・経費削減を図る改善策であることが大前提であり、各所管とも利用者確保に向けた取り組み計画が主となったが、それぞれの努力や工夫によって高い入所率の維持や通所系における利用者増が実現し、その結果近年に無い大幅な増収を達成。

特にデイサービス・デイケアの利用者増に目覚しいものがあり、2013年度に企画された「デイチャレンジ2013」で「すまいるデイサービス」「コミ美唄デイケア」両事業所が表彰される等、取り組みの努力が結実。一方経費削減策については、看取りの開始や服薬の見直し等により他科受診が減り、それに伴う医療関係費の削減に大きな効果も上げたものの、施設の経年劣化による修繕や感染症対策、利用者増に伴う人件費等、必要経費の膨らみがあった。

<今後の展開>

2013年度も2012年度と同様、施設運営会議の中で経営改善プロジェクトに関する協議を行うも、実際に取り組みをするのはそれぞれの所管で有り、他の所管の取り組みや努力に対して意見を言うような雰囲気作り出せない状況があった。このような状況の中でも、2013年度については増収と言う形に表れる成果を得られ、このプロジェクトの目的は達成できたと思われるが、この成果は、施設側の努力だけではなく利用者側の理解と協力、あるいは負担により実現されている部分も多いことから、今後はより一層利用者本位の方策を取り入れ、それによって更に利用者が増え収益も上がるシステム（サイクル）作りが必要と思われる。

これらのことを実現させるためには、各所管の連携により施設全体で取り組まなければならないことも多いことから、この経営改善プロジェクトを通して職員一人ひとりが共通認識を持ち、適正な施設運営を維持して行く必要がある。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

(CH美唄)医師1名、看護職員13名（内非常勤1名。准看護師含む）、介護職員48名（内非常勤10名）栄養士1名
相談員2名、事務・施設管理8名、療法士7名（内非常勤1名）、清掃・運転12名（全て非常勤）
合計92名（内非常勤24名）

(すまいる)介護支援専門員5名、訪問介護員23名、看護職員3名、介護職員12名、経営管理課等8名、合計51名

○2013年度職員異動状況

(CH美唄)看護職員⇒採用 2名、退職0名、療法士 ⇒採用1名、退職0名

介護職員⇒採用11名、退職7名、清掃・運転⇒採用2名、退職2名

(すまいる)看護職員⇒採用 1名、退職2名、介護職員 ⇒採用6名、退職7名

運転職員⇒採用 2名、退職1名、福祉入浴員⇒採用2名、退職2名、L S A⇒採用1名、退職1名

4. 研修参加・実施状況

○研修参加・実施状況

(CH美唄) 実施回数：67回、延108名参加・人材育成の為、積極的に研修受講を促した。

主な研修名称：溪仁会グループ研修会、老健協主催研修会、道介護福祉士会研修会、道社協主催研修会他

(すまいる) 溪仁会グループ主催の職員合同研修会等：延3名参加、その他の集合研修：延11名参加

職員対象の内部研修：延45名参加、訪問介護事業所内研修：1回/月、通所介護・居宅介護事業所内研修：1回/2月

・2014年度は、三事業所の合同研修会を積極的に設けて、研修の充実を図る予定である。

2013年度 美唄ブロック事業報告

【入所：定員80名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>28,835 人</u>	<u>28,975 人</u>
一日平均入所者数	<u>79.0 人</u>	<u>79.4 人</u>
入所待機者	<u>15 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.8</u> （短期療養除く）	
協力医療機関	： <u>1. 市立美唄病院</u>	
	<u>2. 宝崎歯科分院</u>	
	<u>3. _____</u>	

【通所リハビリテーション：定員50名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>12,320 人</u>	<u>12,586 人</u>
一日平均利用者数	<u>40.0 人</u>	<u>40.9 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.4</u> （要支援1・2を除く）	

【通所介護：一般型35名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>7,573 人</u>	<u>7,544 人</u>
一日平均利用者数	<u>24.6 人</u>	<u>24.5 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.8</u> （要支援1・2を除く）	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>15,462 人</u>	<u>14,590 人</u>
(介護保険外)		<u>3,537 人</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>50.2 人</u>	<u>47.4 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.1</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>2,185 件</u>	<u>2,211 件</u>
(うち介護予防)		<u>486 件</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.1</u> (要支援1・2を除く)	

【福祉入浴】(自主事業)

延利用者数	<u>1,940 人</u>
一日平均利用者数	<u>12.6 人</u>

【高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 (LSA)】(受託事業)

対応件数	<u>4,114 件</u>
(安否確認: <u>3,838 件</u> 相談連絡: <u>223 件</u> 健康異変: <u>26 件</u>)	
ガス漏れ警報器: <u>6 件</u> 非常呼出: <u>21 件</u> その他: <u>0 件</u>)	

2013年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム岩内

1. 総括

1. 入居は、一日平均入所者数の目標を達成し、昨年の実績を超えた。
2. 通所リハビリは、延利用者数の目標を達成し、目標対比104.3%の達成状況であった。
3. 訪問看護は、延派遣回数も一日平均利用者数も目標の達成には至らなかったが、訪問看護及び訪問看護によるリハビリの認知度が高まり、地域のニーズに対応することができた。
4. 小規模通所介護事業所まへれば、目標の一日平均利用者数を達成できなかったが、延利用者数は目標を達成できており、顧客へのニーズに対応することができた。
5. 居宅介護支援事業所さつきは、在宅サービスの拠点として活動実施し、「コミュニティの丘」内での連携も図れてきている。
6. 岩内町の委託事業「岩内町地域包括支援センター」は、介護予防事業の継続や地域ケア会議開催への活動を実施し、地域での新たな取り組みへ活動することができた。
7. 事業所内保育所の利用により職員が働きやすい環境作りを行った。
8. 2013年11月から職員の送迎を実施し、地域での人材の確保に努めた。
9. 施設長が年度末に退職したため、新施設長を配置するとともに、非常勤医師の応援を受けて診療体制を確保している。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

○岩内ブロックは、「コミュニティの丘」と称して、コミュニティホーム岩内はじめ全事業所を含めた各職種の代表責任者を指名し開催した。

参加者：コミュニティホーム岩内施設長（医師）、岩内ふれ愛の郷施設長、ケア管理部長、
経営管理課課長代理、支援相談課主任、リハ課主任、栄養課副主任、
以上の7名で構成

<成果>

○母体となるコミュニティホーム岩内を含め「コミュニティの丘」全施設・事業所の情報の共有化を図り、職種代表者の指揮のもと、施設・事業所間を横断して利用者の処遇向上に取り組み、全体での目標値を達成することができた。

<今後の展開>

○2014年度も上記の形を継続し、成果を上げることは勿論地域貢献へつながる活動を実施していく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2013年3月31日職員状況

- ・医師：1名
- ・理学療法士：6名
- ・作業療法士：3名
- ・栄養士：1名
- ・看護職員：21名（内非常勤職員7名）
- ・介護職員：73名（内契約職員・非常勤職員53名）
- ・相談員：8名
- ・事務職員：5名（内非常勤職員2名）
- ・合計：118名（内契約職員・非常勤職員62名）

*有資格者の定数配置はできている。

4. 研修参加・実施状況

- 看護・介護基礎研修 担当職員
- 新人研修 学卒新人職員
- ユニットケアについて 全職員
- ユニットリーダー研修 2名（前期1名・後期1名）
- 高齢者虐待防止研修 担当職員
- 認知症実践者研修 1名（1名）

2013年度 事業報告

コミュニティホーム岩内

【入所：定員100名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	36,135 人	36,336 人
一日平均入所者数	99.0 人	99.6 人
入所待機者	5 人（3月末現在）	
要介護度状況	平均要介護度 2.95	
協力医療機関	1. 協会岩内病院	
	2. _____	
	3. _____	

【通所リハビリテーション：定員50名】

	目 標	実 績
延利用者数	10,550 人	11,008 人
一日平均利用者数	41.5 人	40.0 人
要介護度状況	平均要介護度 1.50（要支援1・2を含む）	

【地域包括支援センター】

延相談件数 184 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：88 件 権利擁護：4 件 高齢者虐待：1 件

介護予防：5 件 その他：15 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
運営会議	<u>12</u> 回	<u>12</u> 回
個別処遇検討会議	<u>0</u> 回	<u>3</u> 回
連絡会議	<u>3</u> 回	<u>3</u> 回
運営推進会議	<u>0</u> 回	<u>6</u> 回
地区組織関係会議	<u>0</u> 回	<u>3</u> 回
その他	<u>0</u> 回	<u>3</u> 回

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	<u>66</u> 件	<u>108</u> 件	<u>3</u> 件

【訪問看護】

	目 標	実 績
延派遣回数	<u>3,773</u> 回	<u>3,301</u> 回
（うち介護保険外）	<u>1,394</u> 回	<u>1,231</u> 回
一日平均利用者数	<u>15.4</u> 人	<u>13.5</u> 人

要介護度状況 : 平均要介護度 1.81 (要支援1・2を含む)

【通所介護（ま～れ）：一般型10名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>2,304 人</u>	<u>2,305 人</u>
一日平均利用者数	<u>9.0 人</u>	<u>8.5 人</u>
要介護度状況	平均要介護度 <u>1.3</u> (要支援1・2を含む)	

2013年度 事業報告

施設名：溪仁会ハートケアセンター

1. 総括

1. 通所介護事業：延利用者数83,932名で平均要介護度1.9であった。収支的には、依然厳しい状況であり同業他社との差別化を図り、如何に溪仁会のデイサービスを選んでいただくかが2014年度の課題。
2. 居宅介護支援事業：小規模多機能型居宅介護・サービス付き高齢者住宅併設事業所が各地区で開設され苦戦ではあったが、各医療機関の地域医療連携室からの紹介及び喜茂別町のプラン作成などで収支は厳しいが新規利用者が伸びており、年間延作成件数3,999件（内介護予防291件）であった。職員の補充ができたので2014年度に期待する。
3. 訪問看護事業：在宅復帰に伴う新規利用者増で予算達成し黒字化を継続。2014年度は、職員を増員し新規利用者の受入に対応していく。
4. 障がい者相談室：手稲地区の障がい者相談窓口として存在が確立しつつあり、行政及び地域関係機関との連携を図ることができ、登録者数139名と相談支援件数2,077件と増加傾向。
5. 介護予防センター：毎月の教室の開催が地域住民に浸透しつつあり、延参加人数1,177名であった。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

○溪仁会ハートケアセンター運営会議において各事業所より運営状況及び改善状況の報告。

参加者：通所介護…あおば・新琴似・手稲・豊平・円山、居宅介護支援…あおば・在宅ケア・こころまるやま
訪問看護…あおば、相談室…こころていね

開催日：毎月第2金曜日開催

<成果>

○各事業所の問題点の共有をすることで個々の事業所で抱えていた問題点を解決する手段が出来た。

<今後の展開>

○2014年度も上記の形を継続し成果を上げていきます。

3. 職員状況（3月末現在）

○2014年3月31日職員状況

- ・管理者：8名
- ・相談員：8名
- ・介護支援専門員：13名
- ・看護職員：25名（内非常勤職員12名）
- ・介護職員：103名（内非常勤職員42名）
- ・理学療法士：1名
- ・作業療法士：2名
- ・事務職員：4名
- ・運転職員：19名（内非常勤職員18名）
- ・合計：183名（内非常勤職員72名）

*各事業所とも人員の定数配置はできている。

4. 研修参加・実施状況

○溪仁会グループ・キャリア支援室主催：60名参加

○外部研修：各地区通所連絡会、各地区在宅ケア連絡会、認知症介護実践者研修、キャリア段位評価者研修
介護技術研修、主任ケアマネフローアップ研修、北海道慢性期医療協会、訪問看護ステーション連絡協議会
札幌市難病対策事業研修、札幌市ケアマネ指導者研修、福祉用具研修、喜茂別町地域ケア会議
介護支援専門員研修、札幌市予防給付研修、基礎研修、インターライフ方式作成研修
他法人認知症通所介護事業所研修

2013年度 事業報告

青葉ハーティケアセンター

【通所介護：一般型60名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>16,216 人</u>	<u>15,086 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>52.3 人</u>	<u>48.7 人</u>
要介護度状況 一般型	：平均要介護度 <u>1.7</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,938 件</u>	<u>1,800 件</u>
（うち介護予防）		<u>235 件</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>1.8</u> （要支援1・2を除く）	

【訪問看護（あおば）】

	目 標	実 績
延派遣回数	<u>3,225 回</u>	<u>3,487 回</u>
（うち介護保険外）	<u>240 回</u>	<u>417 回</u>
一日平均利用者数	<u>13.4 人</u>	<u>14.2 人</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>2.2</u> （要支援1・2を除く）	

2013年度 事業報告

豊平ハーティケアセンター

【通所介護：一般型70名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>17,977 人</u>	<u>17,253 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>58.2 人</u>	<u>55.8 人</u>
要介護度状況 一般型	：平均要介護度 <u>1.8</u> （要支援1・2を除く）	

2013年度 事業報告

円山ハーティケアセンター

【通所介護：一般型75名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>20,252 人</u>	<u>19,031 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>65.2 人</u>	<u>61.2 人</u>
要介護度状況 一般型	：平均要介護度 <u>2.0</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】 ※2012年7月1日事業開始

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,110 件</u>	<u>1,023 件</u>
（うち介護予防）		<u>54 件</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>1.8</u> （要支援1・2を除く）	

2013年度 事業報告

手稲溪仁会ハーティケアセンター

【通所介護：一般型65名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>16,740 人</u>	<u>17,124 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>54.3 人</u>	<u>55.6 人</u>
要介護度状況 一般型	：平均要介護度 <u>1.6</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数 （うち介護予防）	<u>1,228 件</u>	<u>1,176 件</u> <u>2 件</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>1.8</u> （要支援1・2を除く）	

【介護予防センターまえだ】

延相談件数 114 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：41 件 権利擁護：0 件 高齢者虐待：0 件
 介護予防：49 件 その他：40 件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>25 回</u>	<u>454 人</u>
介護予防教室	<u>9 回</u>	<u>144 人</u>
転倒予防教室	<u>22 回</u>	<u>441 人</u>
認知症予防教室	<u>6 回</u>	<u>116 人</u>
研修会・講演会	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
その他	<u>2 回</u>	<u>22 人</u>

【障がい者相談支援事業】

◇委託相談支援事業

新規登録者	102名	登録抹消者	12名	年度末登録者数	139名
(地区別)	中央区 2名	北区 4名	西区 12名	手稲区	121名
(障がい種別)	身体 28名	重心 5名	知的 63名	精神 22名	
	発達 18名	高次脳 1名	難病 1名	その他	1名
(児・者別)	障がい児 50名	障がい者	89名		
支援方法	訪問 337件	来所 121件	同行 134件		
	電話 203件	ケア会議 50件	関係機関 278件		
	メール 1件	その他 0件	連絡・調整 564件		
	登録外相談 389件	合計	2,077件		
支援分類	福祉サービスの利用に関する支援	877	件		
	障がいや病状の理解に関する支援	17	件		
	健康・医療に関する支援	43	件		
	不安の解消・情緒安定に関する支援	41	件		
	保育・教育に関する支援	11	件		
	家族関係・人間関係に関する支援	35	件		
	家計、経済に関する支援	45	件		
	生活技術に関する支援	18	件		
	就労に関する支援	47	件		
	社会参加・余暇活動に関する支援	0	件		
	権利擁護に関する支援	1	件		
	連絡・調整	564	件		

◇指定相談支援事業（サービス利用計画）

新規計画	22件	(内年度内終了者2件)
モニタリング	72件	

2013年度 事業報告

新琴似ハーティケアセンター

【通所介護：一般型60名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	16,013 人	15,420 人
一日平均利用者数（一般型）	52.0 人	49.6 人

要介護度状況 一般型 : 平均要介護度 2.3 (要支援1・2を除く)

2013年度 事業報告

法人本部

1. 各部・室・課の活動状況

●事業推進部

【在宅事業推進室】

- ・ハーティケアセンター運営管理形態の再編
- ・ハーティケアセンター経営改善プロジェクト会議の開催
- ・喜茂別町、留寿都村にて居宅介護支援事業、訪問介護事業支援
- ・喜茂別町地域ケア会議参画
- ・行政の現地指導に対する事前の対応・支援
- ・在宅サービス事業所管理者、リーダー等への事業運営指導
- ・車輛事故（交通事故）対応業務手順の確認、車輛事故予防への対応
- ・超過勤務削減に関する対応（1ヶ月の変形労働時間制の導入・管理）
- ・苦情・事故の対応及び再発防止への対応
- ・日々の計数管理（利用者数と職員数、6～8の実態管理）の指導
- ・外出行事の見直しとボランティア・職員の昼食及び休憩時間の改善指導

【キャリア支援室】

- ・法人本部主催の研修会の開催（全10回：参加者延べ264名）
 - 認知症研修会の開催（2回：参加者延べ59名）
 - メンタル研修会の開催（3回：参加者延べ64名）
 - 管理者研修会の開催（1回：参加者30名）
 - リーダーのコミュニケーション研修会の開催（1回：参加者17名）
 - クレーム対応研修会の開催（1回：参加者26名）
 - 障害者雇用促進研修会の開催（1回：参加者25名）
 - 在宅ケア支援のサービス研修会の開催（1回：参加者43名）
- ・認知症学習会の開催（12月から毎月実施 4回：参加者延べ60名）
- ・各施設・事業所の要請に応じた研修会への支援
 - 各施設・事業所の要望に応じた講義の実施（2回：参加者延べ108名）
 - 各施設・事業所で開催する研修会講師の調整（5回対応）
 - 訪問介護職員の腰痛予防研修会の講師調整、参加支援（4回：参加者延べ106名）
- ・各施設・事業所職員の人材育成への支援
 - 施設介護職員役職者連絡調整会議への参加
 - 訪問介護事業連絡調整会議への参加
 - 通所介護事業所連絡調整会議への参加
 - 施設看護役職者連絡調整会議の実施及び施設看護リーフレット作成支援
- ・介護福祉士受験対策講座の開催（11回開催：参加者延べ36名 実参加者9名は全員合格）
- ・現場からの研修希望をお伺いして情報把握（16事業所訪問、次年度研修へ反映 5テーマ）
- ・キャリア段位評価者受講支援、審査員講習への支援、連絡調整会議の実施

【リハビリテーション室】

- ・老健リハ連絡協議会の開催（5月・7月・10月・2月）
- ・特養・通所・訪問系リハ連絡調整会議（9月・3月）
- ・室長の各施設への訪問（4月・6月・8月・11月・12月）市内の事業所は随時訪問
- ・養成校の就職説明会参加（3校）
- ・社）溪仁会リハ部門合同研修会、リハ室懇親会（10月）
- ・社）溪仁会リハ部門札幌ブロック研究発表会（2～3月・計5回）
- ・法人内施設・事業所への講師派遣（延べ5名）、外部への講師派遣（延べ7名）
- ・ST派遣（毎月）：コミュニティホーム八雲、菊水こまちの郷、月寒あさがおの郷、あおぼダイサービスセンター
- ・ST派遣（12月～3月）：コミュニティホーム岩内、きもべつ喜らめきの郷
- ・OT派遣（毎月）：菊水こまちの郷
- ・研修受け入れ コミ美唄のST、白石にて週1回

- ・研究発表（溪仁会グループ研究発表会9名、全国ST学会1名、北海道OT学会2名、北海道老健大会1名、全国老人福祉施設研究会議1名）
- ・各施設リハ部門の内部研修の水平展開化
- ・介護保険制度と実際の運営に関する情報共有と問題解決（業務管理室と協業）
- ・訪問リハ事業の拡大
- ・リクルート用パンフレットの作成
- ・介護技術の教材DVDの作成・編集（キャリア支援室との協業）
- ・実習受け入れ施設の拡大
- ・地域での他職種向け研修会、介護予防教室、他

【栄養管理室】

- ・栄養管理者会議の開催（7月・10月・2月）
 - 情報の交換（各施設の食事サービスに関する報告、各施設の運営目標の評価報告等）
 - 各施設の災害備蓄食品の把握
 - 各施設の給食委託会社の購買評価の標準化と評価の把握
- ・調査・研究
 - 高齢者の栄養状態とサルコペニアの追跡調査
 - …2012年度及び2013年度調査データまとめ（2014年度発表予定）
- ・勉強会の開催
 - 7月：リハ栄養とサルコペニアについて
 - 10月：サルコペニアとビタミンDについて
 - 2月：高齢者の低栄養と経管栄養の諸問題について
- ・ルスツ銀河荘の受託業務（4月～5月）
- ・きもべつ喜らめきの郷の開設準備及び栄養・食事サービス業務の遂行（4月～10月）
- ・手稲つむぎの杜の開設準備（11月～3月）
- ・栄養指導受託業務調整管理（喜茂別町）…敬樹園、CH白石の栄養士派遣
 - 乳幼児健診栄養指導：7月、1月、3月、個別訪問栄養指導：8月、9月、2月、3月、健診時栄養指導：12月、健康まつり栄養相談：8月

【業務管理室】

- ・業務管理室全体会議の開催（6月）
- ・施設介護職員役職者連絡調整会議の開催（7月・11月・2月・3月）
- ・訪問介護事業連絡調整会議の開催（4月・7月・10月・1月）
- ・施設看護役職者連絡調整会議の開催（7月・11月）
- ・施設相談職連絡調整会議の開催（4月・7月・10月・1月）
- ・通所介護事業連絡調整会議の開催（5月・11月・2月）
- ・居宅介護支援等連絡調整会議の開催（5月・11月）
- ・CSR事業推進会議の開催（1月・2月・3月）
- ・KMS担当者会議の開催（9月）
- ・監督官庁実地指導（監査）立会い（21事業所：介護予防含む）
- ・内部実地指導実施（31事業所：介護予防含む）
- ・自己点検確認（21事業所／56事業所：介護予防・障害含む）
- ・事業所事故報告確認（監督官庁報告105件）
- ・新規開設事業案件に係る調整（留寿都、手稲、札幌市）
- ・KMS・医療福祉介護連携会議への参加
- ・老健リハ連絡会議・研修会への参加
- ・栄養管理室会議への参加
- ・各施設運営会議への参加、他

●経営管理部

【経営管理課】

- ・理事会（5月・10月・2月・3月）、評議員会（5月・10月・3月）の開催
- ・施設経営管理会議の開催（毎月開催）
- ・総務担当者会議の開催（1月）
- ・総務・経理内部相互監査の実施（5施設）
- ・受託業務の申出・契約・実績報告・請求等の支援
- ・定款変更等行政に対する認可申請事務（4月・8月）
- ・介護報酬請求システム運用支援
- ・各種規程の改正等（就業規則・給与規程・経理規程・旅費規程・退職金規程・ハラスメント防止規程）
- ・決算・予算及び各月度速報及び確定財務諸表作成事務
- ・各種契約案件における入札事務（28件）
- ・新規開設事業に係る支援（喜茂別・留寿都、手稲）
- ・職員の定数管理
- ・各種会議への参加、他